

H17.10.10

Date

No.

三重県伊賀市 中森誠

川上ダムの早期着工を求める (意見書)

地球温暖化の兆候が、予期せぬ地域に予想外の豪雨が集中して各地からの被害が報道される度に、数方に至る伊賀盆地の洪水による惨状が記憶に甦ります。悲慘は罹災者の救援と復旧作業に明け暮れた貴重、苛酷の体験と、未だに改善される岩倉決の現状から「上野治水地」が実現されるのです。

毎、惨禍に遭わずに済むことを願って、多数の地籍者と説得相為りに、連日、連夜のため東奔、西走して、漸く同意が得られたのです。

その決め手となった条件は「上流に川上ダム、下流に治水地」この二つの達成により水禍を防止し、或は軽減される事と信じた譯です。

川上ダムと治水地は車の両輪です。どれが欠けたら中期の目標は達成されません。先陰矢の如し、小田原評定を重ねてくる向にも、恐ろしい災禍の襲来が案じられます。

どうか一日も早く「川上ダム本工事着工」にGOサインを出して下さい。

以上